

PRESS RELEASE 2010.8.20

「現代工芸への視点 茶事をめぐって」

About the Tea Ceremony—A Viewpoint on contemporary *Kogei* (Studio Crafts)

東京国立近代美術館工芸館

2010.9.15～11.23

プレス内覧会を行います！

2010年9月15日(水) 16:00～ 受付

16:00～17:00 内覧会(撮影可能)

17:00～17:30 記者発表

(写真上から)長野烈《腰霰筒釜》2010年、《唐銅六角捻風炉》1998年／
伊勢崎晃一郎《黒彫水指》2010年／新里明士《黒陶碗》2010年／池田巖《竹
溜塗金彩茶器》2006年



日本では、茶の湯の発展とともに、さまざまな素材を用いた工芸作品がつくられ、それらは常に時代を映す鏡のように、新しい考えや造形を見せてきました。さらに近年では、かつての制約にはとらわれない自由な発想から“茶の湯”の器を生み出そうとする動きが活発に展開されています。また、器を使う側にも、器を“見立て”て用いることを楽しむ傾向が見受けられます。

本展では、現代という時代において、特に、個としての想いを造形や意匠に表現している工芸作家の、茶の湯の器や見立ての器に焦点を絞り、茶の湯に対する作家の思考、そして現在における茶の湯の造形について考えます。

「上記のプレス内覧会へご出席いただける場合」および「内覧会当日の撮影を希望される場合*」は
事前に返信をお願いいたします。 **FAX 03-3211-7783 >>>**

9月15日 ご出席

芳名 _____ 人数 _____

貴社／媒体名 _____

*撮影予定の方は以下もご記入ください。

掲載予定の詳細 _____

機材 _____

本資料に関する
お問い合わせ

東京国立近代美術館工芸館

「茶事をめぐって」展企画担当学芸、または広報担当

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 1-1

E-mail. cg-pr@momat.go.jp (広報) HP <http://www.momat.go.jp>

展覧会タイトル	(サブ) 現代工芸への視点 (メイン) 茶事をめぐって
会期	2010年9月15日(水)～11月23日(火・祝)
開館時間	10時～17時 (入館は閉館30分前まで)
休館日	月曜日(ただし9月20日・10月11日は開館)、9月21日(火)、10月12日(火)
主催	東京国立近代美術館
会場	東京国立近代美術館工芸館
アクセス	東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口 徒歩8分／東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下駅」2番出口 徒歩12分 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 1-1
観覧料	一般 500 (350) 円／大学生 300 (150) 円／高校生以下および18歳未満、障害者手帳をお持ちの方とその付添1名は無料 * いずれも消費税込。()内は20名以上の団体料金。 * 割引・無料には、学生証、年齢のわかるもの、障害者手帳等の提示が必要です。 * 入館当日に限り、美術館(工芸館から徒歩5分)で開催中の展覧会(「手探りのドローイング」・「所蔵作品展 近代日本の美術」)もご覧いただけます。
無料観覧日	11月3日(水・文化の日)
人間国宝・巨匠コーナー	今回は人間国宝がつくり出した茶事にまつわる名品を紹介します。
出品作家	池田巖[漆]、伊勢崎晃一郎[陶磁]、市野雅彦[陶磁]、今泉毅[陶磁]、内田鋼一[陶磁]、江田蕙[金属]、小川待子[陶磁]、隠崎隆一[陶磁]、金重有邦[陶磁]、川瀬忍[陶磁]、須田悦弘[木]、長野烈[金属]、新里明士[陶磁]、畠山耕治[金属]、林恭助[陶磁]、林邦佳[陶磁]、福島善三[陶磁]、福本潮子[染織]、福本双紅[陶磁]、前田昭博[陶磁]、村瀬治兵衛[漆]、山田和[陶磁]、樂吉左衛門[陶磁]、若尾経[陶磁]、和田的[陶磁]、渡邊明[ガラス] 以上26名(五十音順)
イベント	当館研究員が鑑賞のポイントを分かりやすく解説します。
[A][B][C] 共に 14時から、申込不要、 参加無料(要観覧券)	9月20日(月・祝) 伊勢崎晃一郎(いせざき こういちろう、陶芸家) [A] アーティストトーク 9月26日(日) 川瀬忍(かわせしのぶ、陶芸家) 10月10日(日) 長野烈(ながの いさお、金工家)
	[B] ギャラリートーク 10月3日(日)、11月7日(日) 唐澤昌宏(東京国立近代美術館工芸課長) 11月14日(日) 木田拓也(東京国立近代美術館主任研究員)
	[C] タッチ&トーク 工芸館ガイドスタッフが「くさわってみようコーナー」と会場トークの2部構成で、さまざまな角度から展覧会のみどころをご紹介します。 >>> 会期中の毎週水・土曜日
ホームページ	http://www.momat.go.jp
掲載用お問い合わせ先	03-5777-8600(ハローダイヤル)

FAX : 03-3211-7783 (工芸課) 広報担当行>>>

年 月 日 ()

 <p>A 池田巖《竹溜塗金彩茶器》2006</p>	 <p>B 市野雅彦《丹波赤ドベ向付》2010</p>	 <p>C 村瀬治兵衛《鎬根来茶器》2010</p>	 <p>D 渡邊明《被硝子切子水指雨垂れ》2010</p>
 <p>E 林邦佳《黒銀彩花鳥紋茶碗》2003</p>	 <p>F 前田昭博《白瓷掬水指》2010</p>	 <p>G 林恭助《曜変碗》2010</p>	 <p>H 樂吉左衛門《焼貫黒樂茶碗》2004</p>
 <p>I 伊勢崎晃一郎《面取水指》2010</p>	 <p>J 長野烈《腰霰筒釜》2010、 《唐銅六角掬風炉》1998</p>	 <p>K 小川待子《90U》1990</p>	 <p>L 新里明士《黒陶碗》2010</p>

広報用図版請求票

- ・ ご希望の図版左下の □ に ✓ を入れて FAX でお送りください。 ・ 作品図版は JPG データをご用意しています。
- ・ 展覧会広報にのみご使用ください。著作権保護のため、他の目的でのご使用は固くお断りいたします。
- ・ 掲載見本を広報担当へご寄贈くださいましたら幸いです。

ご担当者名 _____ E-mail _____

貴社名 _____

出版物・放送番組・ウェブサイト名 _____

(http://www. _____)

掲載予定号・発行日／放送・公開日時等 _____

Phone. _____ () _____ Fax. _____ () _____

* 展覧会をご紹介いただける場合は読者プレゼント用招待券をご用意できます。

希望しない / 希望する (_____ 枚) 送付先 _____